

## 生産工程のデジタル化と設備のネットワーク化 スマートファクトリーの進化で生産性向上

同社は1938年に創業した木材加工の専門会社で、キッチンカウンター他各種カウンターやキャビネット等を建築材メーカーから受注しOEM生産している。10年以上前から受注情報のデジタル化や多様な加工機器のネットワーク化を進め、製造工程の「見える化」により納期管理を徹底している。さらに独自の生産管理システムで1品ごとに管理ナンバーを付けてトレーサビリティを強化し品質保証体制を充実させている。同社は木工業界のなかでも先駆けてIT化・ICT化に取り組み、生産性を飛躍的に高めている。

所在地	岐阜県各務原市鷺沼三ツ池町6丁目424-1	設立	1964年
電話/FAX	058-384-4905/058-384-4908	資本金	3,000万円
URL	<a href="https://hosojapan.co.jp/">https://hosojapan.co.jp/</a>	従業員数	82人
代表者	代表取締役 織田 龍次		



### 意匠性が高い家具をノックダウン式に改良、製造工程のデジタル化で付加価値向上

本来は加工時間が長い意匠性の高い家具を、製造工程のデジタル化により短時間で生産できるようにした。顧客は製品完成モデルを発注段階で3Dで確認することができる。パネル接合方法を接着剤やダボ式からジョイントパーツに変更、組立工数を削減し単純化を図った製品を企画デザインすることで、生産性を高めている。すべての工程をデジタル化することより、設備の潜在能力を最大限に活用し、多様化する需要に応えられるよう、今後も“製造プロセスのデジタル化”への取組を継続していく。



スマートファクトリー

### 受注データの一元化により、加工プログラム作成→搬送→加工までを自動化

社長と社員協働でシステム構築に取り組み、受注データを一元化し、基幹システムと連動させた。次に、一元化されたデータを基に、加工プログラム作成と生産管理が自動で行われるようにした。さらに、材料ごとに、加工プログラムが記載されたQRコードシールを貼りつけ、搬送から加工までの流れを自動化した。材料の搬送、加工機への着脱にはロボットを導入した。その結果、生産リードタイムが短縮し、生産能力が向上した。また、受注段階での正確な納期回答が可能になった。一連の自動化が社員の余力を創造した。



搬送工程でのロボット活用

### 誰もが働きやすい「ユニバーサル・スマートファクトリー」への進化(深化)

同社は日本とベトナムの工場のすべての設備がネットワークで繋がり、そのすべてが同一場所にあるように稼働している。同社は、障がいの有無や国籍に関わらず、誰もが働きやすい環境を目指し、これまで徹底した5S活動や自動化・機械化に取り組み、作業環境を整えてきた。また、2014年には障がい者就労継続支援A型事業所を設立し、梱包などの軽作業を同施設に委託する他、障がい者雇用に積極的に取り組んでいる。現在、A型事業所から同社に3人の社員が転籍し、一般就労者として活躍している。



5Sが徹底した魅せる工場